

1. 2. 3. 4.
「こわじ来^きのれゆた世らうれのをにしゅおよなくわろりさりこしれ^レのびたしたむまひびかいと!」をえがと

つああ主いめいはになすよたるるびたうみむかたこはいはええぬひをたきびきもてくきう

とかこわこみられしのえらえこがののひたたくつきめにじあくのをいるかたをしどたもみにえてし→

はこみ主いがもにりねと会^あなのにいばたのないてばかごりいにとゆかあよかなららん!ららん

くなさかるがいつしれわたみいいなのずいみとるかだきほににいめああくうふたたらればをんし

かきあ主 わきさの りいぎま なるりな きとのざ はき消し げはゆに まいる会 しかごわ をにとば

あきしわ たよんれ えけこら しきうの あいのた いのくめ すりもに るのりう かかはた たお晴れ にりれし

まみ主主 み座をに えにあ会 などおい ばどがな いかばば かばいい にいかか あかなな らん! に! らん! らん!

すなわち、主ご自身が天使のかしらの声と神のラッパの鳴り響くうちに、合図の声で、天から下ってこられる。その時、キリストにあって死んだ人々が、まず最初によみがえり、それから生き残っているわたしたちが、彼らと共に雲に包まれて引き上げられ、空中で主に会い、こうして、いつも主と共にいるであろう。
テサロニケ前書 4:16, 17

5
しゆく たみ とも
祝されし民と共に
いのちの水の川に
みちび
主に導かれゆきなば
よろこ
喜びいかにぞあらん!
わか くる
死の別れの苦しみは
とこしえ た は
永久に絶え果てて
愛よろこび平和のみ
み

6
かつて人の心にも
う
浮かびしことだになき
えいこう
かがやかきき栄光を
とき う
その時われらは受けん!
みち
けわしき道をたどりて
やくそく ち つ
約束の地に着きて
みくに さず
御国を授けしは主と
し